

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ひなたぼっこ			
○保護者評価実施期間	2025年 12月 15日 ～ 2026年 1月 10日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	5
○従業者評価実施期間	2025年 12月 10日 ～ 2025年 12月 31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	服薬や病歴、アレルギーなど児童に対して必要な情報をきちんとヒアリングし共有できている。	保護者様との面談や、送迎時など日々の関わりできちんと情報共有が出来ている。	服薬の変更等がいち早くわかるように何かアナウンスできる仕組みを作る。
2	幼児期の各々の成長に合わせた支援が出来ている。	個々によって、成長や支援の重点が違うため、本人のベースと家族様の意見を取り入れて支援計画を作り、行っています。	支援計画は、一辺倒にならず、本人の成長に合わせて変更し、職員で共通した支援を行っています。
3	保護者様と日々の送迎時のほかにアプリや電話、メールにて情報の共有を行い、本人の支援や家族への支援の連携に努めている。	家庭だけでは見えてこないことなども、学校や他施設間とつながり情報を共有することで、新たな視点での支援方法が考えられたり提案することが出来る。	共通した支援を行うための支援会議の提案をしていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援の振り返りが翌日となっている。また振り返りの対象児が偏っているときがある。	利用児の送迎後は、営業時間から集まって会議を開く時間がないためどうしても翌日になってしまう。 また支援の向上や変更がある児童に関しては話し合いを行うが安定している、または成長のある児童に関しては議題に上がることが少ない。	課題だけに目を向けるのではなく、製糖している部分にもしっかりとフォローが出来るような話し合いが出来れば良いと思う。
2	保護者様にむけての交流会やペアレントトレーニングの機会がすくない。	保護者様より相談等あれば個々に対応はしているが全体としては機会が少ない。またおうちでも同様の支援が必要な場合は各家庭に情報共有とお願いをしているが、全員ではない。	全保護者様にむけての後援会、または茶話会等企画する。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ひなたぼっこ

公表日 2026年 2月 2日

利用児童数 2026年 12月 15日 回収数 5

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	4			1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4			1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	5					
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	5					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	5					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	5					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	5					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4	1				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5					
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2		1	2		お子さまの様子やコンディションをみて、活動に参加してもらっています。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	5					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3		1	1		今後、家族で参加できる研修会や情報提供の機会を検討させていただきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	5					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	1		1		今後は保護者様の集まりやすい環境や時間帯、保育なども考えて保護者会の機会を作りたいと思います。

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5					
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	5					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4			1		各マニュアルは策定しており、定期的に訓練を行っています。マニュアル所在・内容等につきましては、今後保護との面談の機会において、周知に努めさせていただきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4			1		今年は3月に1回と9月に1回、それぞれ地震の避難訓練を行いました。今後も定期的に行っていく予定です。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4			1		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	5					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	5					
	29	事業所の支援に満足していますか。	5					これからも子どもたちが楽しいと感じ、成長できる居場所を作っていきたいと思っています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ひなたぼっこ		公表日		2026年	2月	2日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	活動に応じて、利用するスペースを分けています。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	日々の子どもの特性や発達に応じて利用人数や、人員配置を調整しています。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	大きな居室は間仕切りや棚などで区切ることで、活動スペースの区分けをしています。トイレや洗面台は広く、子供たちが待てるスペースが確保できています。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	毎日掃除とおもちゃはアルコール消毒をしています。棚やカーペットなどで活動スペースは区切られています。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	子どものコンディションや特性に応じて個々で利用できる部屋や環境設定ができています。			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	支援等で気になる点や改善点が出てきた場合は、都度職員間で話し合いを行っています			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	評価表だけではなく、日々の送迎時や面談等でご要望を直接伺っています。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	支援等で気になる点や改善点が出てきた場合は、都度職員間で話し合いを行っています			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	0	適宜外部の機関に相談やアドバイスをいただく機会を設けています。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	外部研修は必ずほぼ全員での参加を目指しています。			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	作成、公表されており、日々の活動も個々の記録と写真にて報告、または公表しております。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	計画期間ごとにモニタリングを行い、本人の様子や保護者様の意向を取り入れた支援計画を作成しています。			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	サービス計画を作成する際は、全職員が意見を出し合える環境を作り、課題に応じた支援方法を提案、共有しています。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	職員に共有されており、個々に応じた支援ができています。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	保護者様にはアプリによりアセスメントできています。職員間は都度話し合いによりアセスメントを行っています。			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	定期的にあセスメントを行い、本人や保護者様のニーズに合わせた個別支援計画を作成しています。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	職員全員でアイデアを取り入れ、準備等を分担しチームで行えています。			

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	来所する子供たちの特性等に配慮しつつ、子供たちが楽しみながら成長できるような活動を考えています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	個々の発達に応じて個別、集団活動における課題を設定して支援しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	必要があればその日の利用児の特性や個々の最近の様子に応じて、支援前に話し合いを行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	翌日に振り返りや送迎時の情報の共有を行っています。	振り返りが翌日となり、休みの職員から聞き取れていない可能性がある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	職員間で共有し、モニタリングや次回の支援計画に役立てています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	半年に一度モニタリングを行い評価と見直しを行っています。保護者様には必ず面談を行い、家庭、学校での様子などを共有して本人に必要な支援を考えています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	担当者会議の前には職員で会議内容の確認や共有を行っています。また会議後は、会議内容や情報の共有を行い職員全員で連携を図るよう努めています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	圏域の部会への参加や、各市町の障害福祉課と連携をとっています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	園への送迎時に情報の共有は行っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	就学先の学校には情報提供書を渡し、支援内容の情報共有と支援方法の統一が出来るよう努めています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)			児童発達支援センターとは情報や支援の共有を行っています。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	0		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	0	公園等で遊ぶ際には支援員が間に入っていっしょに遊ぶ機会を作っていますが、施設自体では行いません。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	日々のアプリでお伝えするとともに、送迎時やメールにて情報を共有し理解を深めています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	個々での相談は受け付けていますが、全体での機会は設けていません。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約時に説明を行い、質問等あればその場で答えています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	軽や宇治に本人や家族様のニーズを聞き出し、それに基づいた支援計画を考えています。定期的に面談を行い都度変化するニーズを捉えて支援内容を変更しています。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	支援計画書は保護者様に内容を読み上げ、同意していただいたうえで署名をいただいています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	必要に応じて面談だけではなく、電話、メール等で相談を受け付け、支援方法など提案しています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	0	映画の上映会と共に交流会を設けているが、全家族のニーズをとらえてはいないと考えます。	今後は保護者様の集まりやすい環境や時間帯、保育なども考えて保護者会の機会を作りたいと思います。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	必要に応じて面談だけではなく、送迎時や電話、メール等で相談を受け付け、対応や体制の整備を行っています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	S N Sを活用し、活動や行事内容を発信しています。事前情報は個人情報等の観点から公に発信はしていません。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	個人情報が記載されている書類等はすべて鍵付きの書庫に保管しています。 ・廃棄書類等はゴミ箱ではなくシュレッダーを使用して廃棄しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	本人の発達と特性に応じて絵カード、マカトンなど視覚ツールを用いて情報の伝達を行ったり、意思の疎通ができるよう努めています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1		今後保護者からの要望があれば、検討をしていきます
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	各マニュアルは策定しており、定期的に研修も行っています。 また各マニュアルをいつでも閲覧できるよう、事務所に書類を設置しています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	BCPは策定しており、定期的に避難訓練等も実施しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	保護者様より状況を共有し確認しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	保護者様より状況を共有し確認しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	安全計画に基づいた研修や訓練を行っています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	契約時に非常時の対応について説明を行っています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	事案が起こった際ヒヤリハットを作成し原因と予防策等を職員間で話し合い周知に務めます。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	身体拘束当禁止適正委員会を設置し、指針や規定を整備しマニュアルを作成しています。保護者に対しては「重要事項説明書」に記載し、各々に説明を行っています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	契約時に説明し、重要事項説明書にもやむを得ない場合の定義について記載しています。	